私の心は海の中

会員　水上 博喜（46期）

私が，ダイビングの資格（Cカード，Certification Cardといいます。）を取ったのは，平成15年3月のことです。最初はあまり面白いとは思わなかったのですが，7月に潜ったとき，どこまでも抜ける透明な海，混じりけのない「青」い海をみてから病みつきになり，会務さえそっちのけで，暇さえあればダイビングに行こうと考えている毎日です。

ダイビングの醍醐味は，他のスポーツと異なり，全く競技性がなく，競技のための特別な技術や体力を要求されないところにあります。ダイビング技術は自分（や仲間）の生命維持に必要なものに限られ，何ら他人と争うという観点がないのです。

ダイビングの楽しみは，写真でしか見たことのない魚やサンゴをこの目で見られること，それを写真に撮ること。沈船やケーブ（穴）でのアドベンチャー。そして，地上では絶対に体感できない3次元の動きを楽しむことにあります。普通，人は花を見て美しいと思うでしょう。サンゴや南海の魚は同じように美しいのです。また小さいころに森や廃屋に入って探検ごっこをした経験はありませんか。沈んだ船や海底の洞窟に入れば同じ遊びができるのです。そしてなにより3次元の浮遊感。皆さん空中を浮いている夢を見たことはありませんか。それが現実のものになるのです。ね，楽しそうでしょう？

ダイビングの危険性を聞かれることがあります。残念ながらダイビングは絶対安全なスポーツとはいいきれません。多分事故と死亡の比率はスカイダイビングに準じるでしょう。当然のことですが，ダイビングでは自分がもっていくタンクの空気量でしか生き残れませんし（SCUBAとはSelf Contained Underwater

Breathing Apparatusの略語です。），急浮上すれば，減圧症（潜水病）や肺の破裂をもたらします。しかし，そのために最初に色々訓練を行うのです。事故の対策やパニック対策を習得すれば，それほど危険なものではありません。ただ，それでも地上とは全く環境が異なるので，海の中では「生きること」を第1に考えなければなりません。他人との競争など考えている暇はありませんし，仕事などの世俗の悩みを海の中に持ち込む余裕はありません。だからこそ，海の中で究極のリラックスができるのです。

鮫に襲われることはありませんかと聞かれることもあります。私も最初はそれを心配しました。しかし，ダイビングポイントにはほとんど人を襲う鮫はいませんし，もともと人間は鮫の餌ではないのです。ダイバーが襲われるのは，鮫の餌を腰につけているなど，特殊な事情によるのです。ですからほとんど心配はいりません。鮫に襲われる確率は，地上でいえば，ゴルフ場で熊に襲われる確率と同じくらいでしょう。

さあ，皆さん潜りましょう。本当にリラックスできますよ。潜っていると，嫌な依頼人や，頭にくる裁判官，迫りくる準備書面など全て忘れられます。

今年は，当会で監事を務めることになっております。監事の仕事とダイビングの予定が重なったときのことを今から心配しています。そのときは勿論…。